

大和泉の森作業所を知ろう



やまねっとの中で7番目にできた事業所です。相鉄線の相模大塚駅から、徒歩5分くらいの所にあります。定員20名の生活介護事業所です。

泉の森作業所は、知的に重度な障がいのある人も通うことのできる作業所、働ける場所が大和市内に欲しいというご家族たちの願いから、平成10年4月、桜森に開所をしました。当初は毎日通う方が5名に職員が4名という、少人数ののんびりした雰囲気です。スタートをした泉の森作業所ですが、現在では定員20名の生活介護事業所となり、賑やかな声や音が日々飛び交っています。主な作業は補聴器のメーカーから頂いている仕事と、牛乳パックを再利用した手漉きハガキ作り等ですが、関わるのがなかなか難しい人もいます。しかし仕事をして給料をもらうという概念がその人に有るか無いかは、重要ではないと考えています。時には嫌なこともあるけれどその人が日中を安心して過ごせる居場所、毎日当たり前に通う場所は、広い意味で働く場所であると思っています。作業以外に、公園での散策を通じて野鳥の声を聴き、季節ごとの匂いや気配を感じることも大切にしています。野の草花を摘んできて紙漉きやクラフトにも活かしています。ワンデー企画といって、月に一度はマンツーマンで出かけることもあります。誰もが当たり前に出かけるように、少人数グループで都会や地方都市その他さまざまな所へ行きたいと思っています。社会に出て行き見知らぬ人も接し、色々な経験を重ねることは、心の豊かさにも繋がっていくはず。また月に一度の土曜日、作業所を開放しておおげらマーケットというバザーをワイワイガヤガヤと行なっています。のびく作業所や近隣施設の手作り製品販売、ご近所の方々から頂いた寄付品でのフリーマーケット、縁日コーナー、アマチュアミュージシャンの素敵な歌を聴いたり…ご家族やボランティアさんに協力して頂きながら続けてきたこの小さなお祭りも、今年4月で213回目を数えます。日々の暮らしの中で四季折々の自然や風物詩と共に感じ、出会いや経験を共に楽しみながら、これからも共に生きていきたいと願っています。(所長 中村)



泉の森作業所の一日常

① 出勤 9:45 頃

通勤手段は、送迎を利用されている方、ご家族の送迎で来られる方がいらっしゃいます。



③ 昼食

安田物産さん・たぶの木さんのお弁当を注文される方やお弁当を持参される方がいます。月に1回、カフェ飯作りを職員と一緒にしています。

② 作業・活動

業者さんから頂いている作業を行うだけでなく、四季を感じるために公園や向日葵畑等に行き、散策したりしています。



④ 帰宅

15:00 に作業・活動を終えて、片づけをしてからおやつを食べます。15:45 に帰宅になります。